

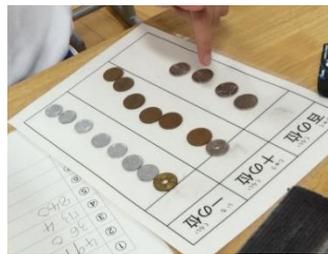
「数学」学習教具

繰り上がりのある持ち金の計算をするための教具

「変身コイン」



※↑硬貨と同じ大きさでラミネート加工したカード。



〈教具の説明〉

〈使い方〉

- ①硬貨で10のまとまりを作る
- ②「変身コイン」を上に乗る
- ③1つ上の位に移動させる
- ④「変身コイン」の数を数えて持ち金を計算する

〈利点〉

- 10のまとまりがわかりやすく、計算しやすい
- 視覚的にわかりやすい

〈生徒の様子など〉

繰り上がる硬貨が複数パターンあったり、硬貨の枚数が多くなったりすると、等価関係がわからなくなり、繰り上がる硬貨をもとの位に残したまま計算をしてしまう生徒が、様々な繰り上がりのパターンや硬貨の枚数が多い持ち金にも落ち着いて取り組み、計算できるようになった。